

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年 4月 30日

事業所名 放課後等デイサービス メロディ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			放課後等デイサービス運営事業概要に乗っ取り利用定員スペース・設備等の広さは確保できている
	2	職員の配置数は適切である	7			定員10名を守りながら支援を行い個別対応も出来るように支援員の配置がされすべての支援員が国家取得者になっています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			車椅子利用者等にも対応できるように玄関はスロープ設置・室内は段差はなく・トイレは障害者用とバリアフリー化されている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2		計画・実践・評価しどのように改善していくかの話し合いを全スタッフで会議していきっていきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			ご指摘があったことに関しては早急に対応していき来年の事業評価が改善されるようにします
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		7		社会福祉法人光陽会ホームページに公開されているので再度通信などで案内を行っていきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		現在第三者による外部評価は受けていない事をメロディ支援員に伝えていきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		社会福祉法人光陽会が年間研修を計画している	管理者が年間通して必要な研修を計画し資質の向上に努めています
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		学校・医療機関・相談支援事業所との情報共有	課題の整理を行いながら必要とされる支援を計画作成している。保護者・学校・相談支援事業所にも情報を共有し統一した支援が出来るようにしていきます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		アセスメントからの情報を確認しながら問題点の再確認	環境・対人関係・発語・日常生活能力の確認しながらメロディ独自のチェック表を使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		集団・個別活動もやらせるのではなく子どもが選ぶ活動楽しんでもらえる活動の提案を行っています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		コロナウイルス拡大等もあり体育館を借りたりなど感染症対策を行ったりして活動プログラムを作っています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			年間通して活動準備・片づけが出来る等の日常生活能力向上、長期休暇は疲れて帰り早く寝るを統一し生活リズムが乱れないようにしています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			年齢に合った日常生活能力があるか活動後の保清面や後片付けなど個別集団活動を通して身に付くように計画作成を行っています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎日の状況確認・予測される事態を想定しながら支援を行っています。支援員の専門性が発揮できるように役割を考えています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			課題があった場合は保護者様に家庭状況など送迎時に支援員が確認し送迎後に支援員で話し合いを行い支援決定しています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			業務日誌と連絡帳が連携し保護者様等の連絡情報も支援の中に取り入れている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			保護者様の不安・支援員からの課題を確認し放課後等デイサービス計画作成を見直しています
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7			社会福祉法人光陽会の事業の目的及び運営方針に基づいて支援を行っている	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			サービス担当者会議には管理者および自発管理以外に担当支援員も利用者の状況説明課題点が説明できるようにしている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			利用者の課題やトラブルなどの情報共有・連絡調整が出来る学校もあれば出来ない学校もあります。相談支援事業所とも連携しながら放課後等デイサービスの取り組み・個別支援計画の統一を学校と行っていきます
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7			医療的ケアの子供は受け入れていないが家族・医療機関同意のもと緊急連絡簿の作成を行っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		相談支援事業所等の連携	相談支援員を通して必要な情報を提供してもらったり保育所等に電話で情報共有してもらっている。コロナウィルス拡大で会議開催は行っていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			今年度はメロディ利用者支援学校高等部卒業生が4名いました。卒業後の事業利用に合わせ個別支援計画当初から得意・苦手な事を確認しナビゲーションブック作成を行いスムーズな移行が出来るようにしています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			法人が年間研修に強度行動障がい者研修等を計画し職員が研修を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7			コロナウィルス拡大に伴い児童館等との交流は行っていませんが今後は交流は必要と考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7			西都市も令和4年10月より自立支援協議会こども部会が発足し協議会参加しています。積極的に地域に向けた放課後等デイサービスの役割などを発言しています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	7			モニタリング・個別支援計画だけではなく課題の改善が出来ている事・精神面で気になることがあれば家族に電話・連絡帳・送迎時を利用し情報共有を行っています
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7			お手伝いが出来た・挨拶が出来たなど日常生活で初めて出来たことを「褒めて下さい」子供を叱るときも長い文章ではなくその場で「ダメ」と伝えてくださいなどの説明を行っています
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			利用契約時に書面にて丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			保護者からの悩み相談を待つのではなく連絡帳や送迎時を利用し困りごとがないか支援員から家族に声掛けをして話しやすい環境を作る事が出来ている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			コロナウィルス拡大に伴い計画していた父母の会等の開催が出来ていません。今後は保護者様に確認を行い保護者会等の開催も検討していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情があった場合は直接話を伺い問題がどこにあるのか等確認し管理者・自発館・支援員全員と会議を行い対応を早急に行っていきます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			毎月メロディ通信に行事・お知らせ・活動様子を掲載し配布を行っている。 連絡帳・送迎時に行事・活動の様子も伝えるようにしている
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報の取り扱いに関して全職員に周知徹底を行っている。施設外で誰が利用している話はない、記録に関しても外部持ち出し禁止・適切にキャビネットに保管している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			子供の目線に合わせて話をしたり個別で振り返りを行ったり話しやすい環境作りを行っています。保護者様にも同様についてでもメロディ見学が出来るようにしています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7			コロナウィルス拡大に伴い地域参加等は行っていない

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			緊急時マニュアル等職員徹底は出来ているが保護者に対しては利用契約時に説明していますが徹底できていないのでモニタリング時や通信で情報発信していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		毎年10月・3月に防災・避難訓練を計画し実施していますが保護者様に伝えきれない状況が見られているのでモニタリング・通信などで情報発信
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			虐待防止の研修会・勉強会を定期的に行っています。(令和5年3月実施)拘束以外の日頃からの言葉の使い方なども対応しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			放課後等デイサービス・メロディ内で身体拘束は行っていません。自傷行為や他害行為のある子供についてはご家族と話し合いを行い問題解決・同意を行っていきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			利用前アセスメント時にアレルギーの確認を行い医療機関受診・服薬等の情報共有を行っています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			問題があればヒヤリ・ハット報告書を作成し全職員に閲覧・会議を行っています